運送業界の健康支援を生きがいに

196 Webにて第15回OCHISセミナー

緊急事態宣言が解除され、いよいよ本格的なWithコロナ時代がスタートしました。

そんな中で、昨年は中止せざるを得なかったOCHISセミナーも今年は再開し、11月16日（火）午後1時30分からWebにて開催します。タイトルはまさしく「アフターコロナを見据えたドライバーの健康管理」です。振り返れば、この2年弱の間、エッセンシャルワーカーといわれるドライバーの活躍には目覚ましいものがありました。感染のリスクや風評被害にさらされながらも、業務を全うされたことに、心より「お疲れ様」と申し上げます。

●コロナ禍での苦労と取り組み

当初、多くのトラック事業者がコロナ禍において苦労されたのは、「感染リスク」に関連したものが多かったのですが、現在では「ワクチン接種」だという声が事業者からあがっています。一例として、「運行スケジュールが流動的で2回目のワクチン予約ができない」「副反応が出ても、交替ドライバーがいない」などです。ドライバー不足はすでに業界きっての懸案事項ではありますが、「国難」ともいわれているコロナ禍において、ドライバーの健康を左右するこのような問題は、何とかならないものかと苦慮するばかりです。そこでOCHISセミナーでは、コロナ禍で事業者がどのような取り組みをされてきたのかを、コロナ禍であるからこそ…の話も合わせて紹介します。

●フォローアップ事業の成果

セミナーではさらに2017年度からスタートし、実績を上げつつある全ト協の定期健康診断フォローアップ事業（運輸ヘルスケアナビシステム）の成果を、ドライバーの生活習慣や健康診断結果を踏まえて公開するとともに、同事業を活用して健康経営ブライト500を取得された事業者へのインタビューも行います。

OCHISのセミナーでは、国交省、全ト協、有識者のご講演に加え、全国各地からお集まりいただいた事業者さまとの情報交換が、楽しいイベントの一つとなっていました。あいにく今年はWebであるためお会いすることが叶いませんが、今までは「出張できないので残念です」というお声も多数お聞きしていましたので、今年は遠方からのご参加も心待ちにしています（OCHISのHPをご覧ください）。

（次回は11月8日号掲載）

《全日本トラック協会 SAS検査受託機関》
NPO法人 ヘルスケアネットワーク（OCHIS）
副理事長 作本 貞子
「安全と健康を推進する協議会（両輪会）」代表
国土交通省健康起因事故対策協議会委員
TEL：06-6965-3666
FAX：06-6965-5261
東京オフィス TEL：03-3295-1271
E-mail sakumoto@ochis-net.com
HP http://sas.ochis-net.jp/